

課かいい		ごみ対策課										ごみ対策課																							
基礎情報		実施計画		平成20年度評価						平成21年度計画						今後の事業展開																			
事務事業		第4次		第5次		実績			事後評価			活動			予算内訳(千円)			21年度業務計画における重点事業		必要性		事業手法				事業の改善提案		予算の方向性							
事業No.	総括フラグ	事務事業名	事務事業の目的・成果	対象(顧客)	事業区分	実施計画事業名	実施計画事業名	活動			決算内訳(千円)		事務事業の目的に対する成果の状況	20年度の取組に対する分析	活動		予算内訳(千円)		優先順位	重点事業の名称	①目的達成	②ニーズ	③成果	④継続性	事業の方向性	①人件費減	②必要の	③民間活用	④市民協働	⑤その他	手法の変更の有無	改善時期(年度)	改善の内容	予算の方向性	
								活動	活動量・サービス量の達成状況		当該事務事業全体の決算額(合計)	活動ごとの決算額			活動	活動量・サービス量		当該事務事業全体の予算額(合計)																	活動ごとの予算額
									活動指標の名称	目標値						実績値	活動指標の名称																		
7		資源物選別施設の管理運営					警備業務委託	防犯・火災監視の日数	365日	365日		548		警備業務委託	防犯・火災監視の日数	365日	548							不可	不要	済	不可	無	なし		維持				
7		資源物選別施設の管理運営					自家用電気工作物保安業務委託	保守・点検回数	1回/月	1回/月		169		自家用電気工作物保安業務委託	保守・点検回数	1回/月	169							不可	不要	済	不可	無	なし		維持				
7		資源物選別施設の管理運営												トラックスケール保守点検委託	保守・点検回数	1回/年	336							不可	不要	済	不可	無	なし		維持				
7		資源物選別施設の管理運営					設備保守点検	保守・点検回数	2回/年	2回/年		158		設備保守点検委託	保守・点検回数	2回/年	158							不可	不要	済	不可	無	なし		維持				
7		資源物選別施設の管理運営					電気水道使用料、修繕料、ウォータークーラー検査	検査の実施回数	年12回(電気水道) 随時(修繕) 年1回(クーラー)	年12回(電気水道) 随時(修繕) 年1回(クーラー)		8,846		電気水道使用料、修繕料、ウォータークーラー検査	検査の実施回数	年12回(電気水道) 随時(修繕) 年1回(クーラー)	8,510							不可	不要	済	不可	無	なし		維持				
8	総	生ごみ処理機の設置及び管理(公共施設)	給食残渣の堆肥化及び生ごみの減量化の啓発	公共施設	政策							900	適切に管理事務を行っており、成果が出ている。	A			1,368			未	低	高	低	休・廃止に向けて検討	不可	不要	済	不可	無	有り		増やす			
8		生ごみ処理機の設置及び管理(公共施設)					保守点検、修繕	点検等の回数	年11回	年11回		900		保守点検、修繕	点検等の回数	年11回	1,368							不可	不要	済	不可	無	有り	21	ごみ処理広域化の一環として他行政の施設利用を検討する。	増やす			
9	総	生ごみ処理容器・電動式生ごみ処理機購入の助成(個人)	生ごみの排出抑制及び減量化を推進する。	一部の市民	政策							3,326	適切に助成事務を行っており、成果が出ている。	A			5,423	6	生ごみ処理容器・電動式生ごみ処理機購入の助成	未	高	高	高	現状維持	可	必要	不可	不可	無	有り		維持			
9		生ごみ処理容器・電動式生ごみ処理機購入の助成(個人)					生ごみ処理容器の廉価での販売	販売件数	年230個	年223個		1,193		生ごみ処理容器の廉価での販売	販売件数	年230個	1,673	6	生ごみ処理容器・電動式生ごみ処理機購入の助成						可	必要	不可	不可	無	有り	22	再任用の活用	維持		
9		生ごみ処理容器・電動式生ごみ処理機購入の助成(個人)					電動式生ごみ処理機購入費助成	助成件数	年150件	年93件		2,133		電動式生ごみ処理機購入費助成	助成件数	年150件	3,750	6	生ごみ処理容器・電動式生ごみ処理機購入の助成						可	必要	不可	不可	無	有り	22	再任用の活用	維持		
10	総	ごみの減量化・資源化の啓発	ごみの減量化・資源化推進の意識の高揚を図ると共に減量化・資源化を推進する。	全市民	政策							2,199	適切に啓発事務を行っており、成果が出ている。	A			5,289			未	高	高	高	現状維持	可	必要	不可	不可	無	有り		維持			
10		ごみの減量化・資源化の啓発					環境学習(説明会等)の開催	開催回数	年50回	年49回				環境学習(説明会等)の開催	開催回数	年50回									可	必要	不可	不可	無	有り	22	再任用の活用	予算なし		
10		ごみの減量化・資源化の啓発					小学生4年生用副読本の作成・配付	作成冊数	2,500冊	2,400冊		241		小学生4年生用副読本の作成・配付	作成時期	2月	302								可	必要	済	不可	無	有り	22	再任用の活用	維持		
10		ごみの減量化・資源化の啓発					ごみ通信ちがさき等の作成、配付等	作成枚数	190,000枚	185,000枚		1,395		ごみ通信ちがさき等の作成、配付等	発行回数	年3回	2,433								不可	必要	済	不可	無	なし		維持			

課かい名		ごみ対策課																																
基礎情報					実施計画		平成20年度評価				平成21年度計画					今後の事業展開																		
事務事業					第4次	第5次	実績			事後評価		活動					事業の方向性																	
事業No.	総括フラグ	事務事業名	事務事業の目的・成果	対象(顧客)	事業区分	実施計画事業名	実施計画事業名	活動			決算内訳(千円)		事務事業の目的に対する成果の状況	20年度の取組に対する分析	活動	活動量・サービス量		予算内訳(千円)		21年度業務計画における課の重点事業		必要性				事業手法			事業の改善提案		予算の方向性			
								活動指標の名称	目標値	実績値	当該事務事業全体の決算額(合計)	活動ごとの決算額				活動指標の名称	目標値	当該事務事業全体の予算額(合計)	活動ごとの予算額	優先順位	重点事業の名称	①目的達成	②ニーズ	③成果	④継続性	事業の方向性	①人件費減	②運営の必要性	③民間活用	④市民協働		⑤その他	手法の変更の有無	改善時期(年度)
38	総	焼却処理施設の地元調整に係る事務	焼却処理施設に伴う住環境の整備等	萩園地区市民	政策						472,207	472,207						4				未	高	高	高	現状維持					なし		維持	
38		焼却処理施設の地元調整に係る事務													焼却処理施設周辺市民との協議	会議開催回数	年1回			4							不可	必要	不可	不可	無	なし		維持